

# 2024年度当初予算 都道府県観光予算アンケート ①北海道・東北

## 旅行需要が回復、観光振興へ

観光経済新聞社は、47都道府県の観光担当課を対象に、2024年度当初予算の観光予算額についてアンケート調査を実施した。コロナ禍からの旅行需要の回復が進む中、都道府県の観光予算には、日本人の国内旅行の誘客やインバウンドの復活をはじめ、観光の高付加価値化、サステナブルツーリズムの推進などの施策に予算が充てられている。アンケート調査の結果を地方ブロックごとに掲載を分けて紹介する。

### 「高付加価値化」「宿泊税検討」の設問も

24年度当初予算の「観光」で回答してもらった調査結果は、冬自治体の観光は5月上旬に発送し、6月担当課に計上した予算額に於いて回答結果を順次回収した。観光予算は自治体により、都道府県間の比較、前年度との比較などには注意が必要だ。また、当初予算の観光予算額は、観光予算額に含めていないが、職員給与費は除外している。また、当初予算の観光予算額は、観光予算額に含めていないが、職員給与費は除外している。

【予算額上位】 ①誘客促進強化事業 (556,129千円) ②地域の魅力を生かした観光地づくり推進事業 (180,980千円) ③北海道観光誘致推進事業 (135,669千円) ④アドベンチャートラベル推進事業 (125,432千円) ⑤広域観光周遊促進事業 (98,230千円)

【分野別主要事業】  
 ■日本人国内旅行誘客促進 ○誘客促進強化事業 (国内分) (405,919千円) ○北海道さっぽろ「食と観光」情報館運営 (37,672千円) ○どさんこ旅サロンの運営・利用促進事業 (12,720千円)  
 ■インバウンド誘客促進 ○誘客促進強化事業(国際分) (150,210千円) ○アドベンチャートラベル推進事業(125,432千円) ○インバウンド再興事業(52,009千円)  
 ■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など ○地域の魅力を生かした観光地づくり推進事業 (180,980千円) ○広域観光周遊促進事業 (98,230千円) ○広域連携DMOとしてのデジタルマーケティング事業 (34,167千円)  
 ■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など ○地域の魅力を生かした観光地づくり推進事業 (180,980千円) ○観光人材育成事業 (25,779千円) ○ユニバーサルツーリズム推進事業 (19,873千円)  
 ◆高付加価値化、サステナブルツーリズムなど アドベンチャートラベル推進事業 2024年度当初予算 (125,432千円) A T W2023開催で得られた諸課題に対応した受け入れ体制の構築、戦略的な市場開拓および地域のA T 推進の取り組みを支援し、本道観光の高付加価値化を進める。  
 ◆宿泊税の検討状況 観光振興を目的とした新税に関する懇談会における議論や、地域説明会およびパブリックコメントで頂いたご意見を踏まえ、制度案等を検討中。

額と前年度比のほか、予算掘り・磨き上げ、受け入れ態勢整備、観光地づくり、マーケティングに関する主要事業として「観光産業の振興・支援、人材育成、観光DMOへの支援」に関する主要事業として、4分野に分けて、主な事業を三つに分けて紹介する。

【高付加価値化、サステナブルツーリズムなど】  
 「高付加価値化、サステナブルツーリズム」の項目は、団体・DMOへの支援に関する主要事業として、4分野に分けて回答を求めた。なお、47都道府県のうち、東京都、大阪府、福岡県はすでに宿泊税を導入している。

【高付加価値化、サステナブルツーリズムなど】  
 「高付加価値化、サステナブルツーリズム」の項目は、団体・DMOへの支援に関する主要事業として、4分野に分けて回答を求めた。なお、47都道府県のうち、東京都、大阪府、福岡県はすでに宿泊税を導入している。

【高付加価値化、サステナブルツーリズムなど】  
 「高付加価値化、サステナブルツーリズム」の項目は、団体・DMOへの支援に関する主要事業として、4分野に分けて回答を求めた。なお、47都道府県のうち、東京都、大阪府、福岡県はすでに宿泊税を導入している。

調査データ

## 本社調査 2024年度

### 青森県

【当初 観光予算】  
**2,921,093千円 (前年度比94.5%)**

【予算額上位】  
 ①インバウンド需要拡大事業費(141,594千円) ②国際誘客対策事業費【韓国・台湾・中国・香港・タイ・豪州・欧米】(138,945千円) ③グローバルマーケットシェア獲得事業費(53,654千円) ④DXによる青森ファン関係強化推進事業費(48,630千円) ⑤世界遺産活用ツーリズム推進事業費(48,594千円)

【分野別主要事業】  
 ■日本人国内旅行誘客促進 ○平日・閑散期誘客対策事業費(21,217千円) ○エリア別国内誘客対策事業費(16,896千円) ○青函周遊観光推進事業費(13,654千円)  
 ■インバウンド誘客促進 ○インバウンド需要拡大事業費(141,594千円) ○海外OTA活用着地型観光商品販売促進事業費(4,716千円) ○世界とつながるクルーズ船寄港促進事業費(2,244千円)  
 ■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など ○アウトドアスポーツツーリズム推進事業費(18,432千円) ○「アート青森」推進事業費(15,022千円) ○外国人観光客受入体制整備事業費(2,687千円)  
 ■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など ○DXによる青森ファン関係強化推進事業費(48,630千円) ○「サステナブル観光青森」推進事業費(24,700千円) ○新たな需要獲得観光コンテンツ開発事業費(24,552千円)  
 ◆高付加価値化、サステナブルツーリズムなど 「サステナブル観光青森」推進事業費 2024年度当初予算(24,700千円) 宿泊事業者に対してサステナブルに配慮した取り組みの経費補助や専門家派遣等による助言を行う。

### 宮城県

【当初 観光予算】  
**629,688千円 (前年度比約119%)**

【予算額上位】  
 ①観光誘客推進事業(85,739千円)②教育旅行誘致促進事業(84,000千円)③多賀城創建1300年記念イベント支援事業(60,000千円)④宮城オルレ推進事業(54,200千円)⑤外国人観光客誘致促進事業(47,554千円)

【分野別主要事業】  
 ■日本人国内旅行誘客促進 ○観光誘客推進事業(85,739千円)○教育旅行誘致促進事業(77,373千円)○多賀城創建1300年記念イベント支援事業(60,000千円)  
 ■インバウンド誘客促進 ○宮城オルレ推進事業(54,200千円)○外国人観光客誘致促進事業(47,554千円)○アンバサダーサミット開催事業(30,000千円)  
 ■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など ○観光地域づくりチャレンジ事業(42,000千円)○外国人観光客受入環境整備促進事業(8,500千円)  
 ■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など ○小規模宿泊施設普及拡大事業(13,570千円)○未来を担う観光人材プロジェクト(5,850千円)  
 ◆高付加価値化、サステナブルツーリズムなど ○外国人観光客受入環境整備促進事業 2024年度当初予算(8,500千円) 県内宿泊施設が行う先進的な多様かつ他施設とのモデルとなるような受け入れ環境整備を支援するもの。  
 ○観光地域づくりチャレンジ事業 2024年度当初予算(42,000千円) 地域資源を活用した観光コンテンツの造成を推進するもの。  
 ◆宿泊税の検討状況 現在、宿泊税の導入に向け、制度設計案を検討中。導入時期等は未定。

### 福島県

【当初 観光予算】  
**3,512,484千円 (前年度比90%)**

【予算額上位】  
 ①浜通り地域等交流人口・消費拡大支援事業(1,163,000千円) ②福島インバウンド復興対策事業(320,222千円) ③くろがね小建替整備事業(310,005千円) ④産業交流館運営事業(305,155千円) ⑤教育旅行復興事業(297,676千円)

【分野別主要事業】  
 ■日本人国内旅行誘客促進 ○教育旅行復興事業(297,676千円) ○ホープツーリズム拡充等浜通り観光支援事業(166,623千円) ○ホープツーリズム運営・基盤整備事業(152,932千円)  
 ■インバウンド誘客促進 ○福島インバウンド復興対策事業(320,222千円) ○ホープ・インバウンド誘客事業(65,000千円) ○海外風評払拭情報発信事業(22,000千円)  
 ■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など ○観光地域づくり総合推進事業(106,278千円) ○福島県観光誘客促進事業(53,169千円) ○観光デジタルプロモーション強化事業(29,161千円)  
 ■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など ○浜通り地域等交流人口・消費拡大支援事業(1,163,000千円)

### 北海道

【当初 観光予算】  
**1,818,794千円 (前年度比280.1%)**  
2023年度当初予算は知事選のため骨格予算

【予算額上位】 ①誘客促進強化事業 (556,129千円) ②地域の魅力を生かした観光地づくり推進事業 (180,980千円) ③北海道観光誘致推進事業 (135,669千円) ④アドベンチャートラベル推進事業 (125,432千円) ⑤広域観光周遊促進事業 (98,230千円)

【分野別主要事業】  
 ■日本人国内旅行誘客促進 ○誘客促進強化事業 (国内分) (405,919千円) ○北海道さっぽろ「食と観光」情報館運営 (37,672千円) ○どさんこ旅サロンの運営・利用促進事業 (12,720千円)  
 ■インバウンド誘客促進 ○誘客促進強化事業(国際分) (150,210千円) ○アドベンチャートラベル推進事業(125,432千円) ○インバウンド再興事業(52,009千円)  
 ■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など ○地域の魅力を生かした観光地づくり推進事業 (180,980千円) ○広域観光周遊促進事業 (98,230千円) ○広域連携DMOとしてのデジタルマーケティング事業 (34,167千円)  
 ■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など ○地域の魅力を生かした観光地づくり推進事業 (180,980千円) ○観光人材育成事業 (25,779千円) ○ユニバーサルツーリズム推進事業 (19,873千円)  
 ◆高付加価値化、サステナブルツーリズムなど アドベンチャートラベル推進事業 2024年度当初予算 (125,432千円) A T W2023開催で得られた諸課題に対応した受け入れ体制の構築、戦略的な市場開拓および地域のA T 推進の取り組みを支援し、本道観光の高付加価値化を進める。  
 ◆宿泊税の検討状況 観光振興を目的とした新税に関する懇談会における議論や、地域説明会およびパブリックコメントで頂いたご意見を踏まえ、制度案等を検討中。

### 岩手県

【当初 観光予算】  
**251,114千円 (前年度比76.8%)**

【予算額上位】  
 ①いわてインバウンド新時代戦略事業費 (29,659千円) ②インバウンドぐるっと県内周遊促進事業 (29,595千円) ③観光事業推進費負担金 (26,234千円) ④いわての魅力まるごと発信強化事業費 (22,536千円) ⑤東北観光推進事業費 (21,659千円)

【分野別主要事業】  
 ■日本人国内旅行誘客促進 ○観光事業推進費負担金 (26,234千円) ○いわて観光キャンペーン推進協議会負担金 (22,583千円) ○いわての魅力まるごと発信強化事業費 (15,848千円)  
 ■インバウンド誘客促進 ○いわてインバウンド新時代戦略事業費 (29,659千円) ○インバウンドぐるっと県内周遊促進事業 (29,595千円) ○世界が気づいた岩手の魅力発信事業 (16,620千円)  
 ■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など ○東北観光推進事業費 (21,659千円) ○いわての新しい観光推進体制構築費 (22,536千円) ○三陸観光地域づくり推進事業費 (19,126千円)  
 ■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など ○いわての新しい観光推進体制構築費 (22,536千円) ○三陸観光地域づくり推進事業費 (19,126千円)

### 山形県

【当初 観光予算】  
**933,329千円 (前年度比128.6%)**

【予算額上位】  
 ①インバウンド拡大に向けた誘客促進事業費 (236,882千円) ②観光連携推進事業費 (87,404千円) ③観光施設経営強化支援事業 (68,933千円) ④観光誘客総合推進事業費 (53,890千円) ⑤高付加価値な観光地づくり推進事業費 (50,545千円)

【分野別主要事業】  
 ■日本人国内旅行誘客促進 ○観光キャンペーン推進事業費 (32,160千円) ○観光情報番組放映事業費 (31,168千円) ○観光誘客総合推進事業費 (53,890千円の一部)  
 ■インバウンド誘客促進 ○高付加価値な観光地づくり推進事業費 (50,545千円) ○インバウンド拡大に向けた誘客促進事業費 (236,882千円) ○重点市場における現地情報発信強化事業費 (35,104千円)  
 ■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など ○高付加価値な観光地づくり推進事業費 (50,545千円) ○デジタル活用観光誘客事業費 (44,332千円) ○精神文化ツーリズム推進事業費 (10,870千円)  
 ■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など ○観光誘客総合推進事業費(53,890千円) ○観光施設経営強化支援事業(68,933千円) ○観光業専門アドバイザー派遣事業(3,025千円)  
 ◆高付加価値化、サステナブルツーリズムなど 高付加価値な観光地づくり推進事業費 2024年度当初予算 (50,545千円) 観光消費額の拡大に向け、訪日外国人旅行者の中でも消費額が高い層をターゲットにした付加価値が高い観光地づくりの推進、外国人材の活用等。

### 秋田県

【当初 観光予算】  
**907,354千円 (前年度比115%)**

【予算額上位】  
 ①インバウンド拡大に向けた誘客促進事業 (421,978千円) ②冬季誘客促進事業 (330,857千円) ③秋田ならではのツーリズム事業 (25,837千円) ④秋田の観光創生推進会議事業 (25,000千円) ⑤観光連携強化事業 (24,480千円)

【分野別主要事業】  
 ■日本人国内旅行誘客促進 ○冬季誘客促進事業 (330,857千円) ○秋田ならではのツーリズム事業 (25,837千円) ○秋田の観光創生推進会議事業 (25,000千円)  
 ■インバウンド誘客促進 ○インバウンド拡大に向けた誘客促進事業 (421,978千円) ○広域連携による戦略的プロモーション事業 (10,772千円) ○台湾便交流促進事業 (3,680千円)  
 ■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など ○デジタルデータを活用した誘客促進事業 (7,994千円)  
 ■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など ○観光連携強化事業 (24,480千円) ○観光連携団体共同事業 (21,733千円)